

開館40周年記念特別展

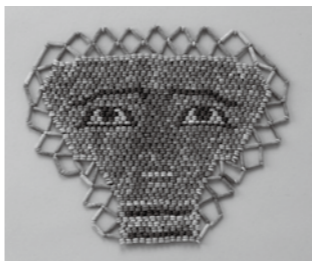
「ピース——つなぐ・かざる・みせる」
飾り玉、数珠玉、トンボ玉などを総称するピース。本展示では、私たち人類がつくり出した最高の傑作の一つとしてピースをとりだして、つくる楽しみ、飾る楽しみをおして日本や世界の人びとにとってのピースの魅力を紹介いたします。

体験コーナー

ダチョウの卵の殻でできたピースのアクセサリーなどをさわったり、タカラガイなどの自然素材をピースとしてつなげたりする体験ができます。

日時 特別展会期中
会場 特別展示館2階
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

会期 6月6日(火)まで
会場 特別展示館



ミイラのビーズマスク(エジプト)

「みんなく×ナレッジキャピタル」
世界「ピース」
特別展「ピース——つなぐ・かざる・みせる」に関連した連続講座を行います。ピースは、およそ10万年前にはじめてつくられたといわれ、世界各地にみられるものです。今回は、みんなくの世界のフィールドワーカーによって語られるピースと人のかかわりについて具体的に紹介します(全4回)。

連続講座
「みんなく×ナレッジキャピタル」
世界「ピース」

春の遠足・校外学習にむけて、事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。

日時 4月4日(火)、6日(木)14時～16時30分
会場 本館第5セミナー室ほか
※参加無料

申し込み・お問い合わせ先
お申し込み・お問い合わせ先
国立民族学博物館 案内所
電話 06・68778・8341
Fax 06・68778・8441

企画展

「津波を越えて生きる」

大槌町の奮闘の記録

大槌町の被災前の文化を紹介すると同時に、被災直後の人びとの行動や復旧の試みを展示の形でたどりま。

会期 4月11日(火)まで
会場 本館企画展示場



大槌まつりの手踊り隊

事前見学&ガイダンス

春の遠足・校外学習にむけて、事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。

日時 4月4日(火)、6日(木)14時～16時30分
会場 本館第5セミナー室ほか
※参加無料

申し込み・お問い合わせ先
お申し込み・お問い合わせ先
国立民族学博物館 案内所
電話 06・68778・8341
Fax 06・68778・8441

時間 19時～20時30分(18時30分開場)

会場 グランフロント大阪北館1階

ナレッジキャピタル「カフェラボ」

※要事前申込、参加費500円(1ドリンク付き)、定員各回50名

主催 国立民族学博物館

一般社団法人ナレッジキャピタル

4月12日(水)

世界はピースでつながっている

講師 池谷和信(本館教授)

4月19日(水)

台湾のピース

講師 野林厚志(本館教授)

お問い合わせ先
一般社団法人ナレッジキャピタル
06・6372・6530

ナレッジキャピタル

「地球探究紀行」

開館40周年にちなみ、本館展示の地域区分(12地域)ごとに、地球に暮らす人びとの多様な営みを紹介します。

時間 13時～14時30分

会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」

※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費1000円、定員各回50名

主催 産経新聞社

共催 近鉄文化サロン、スペース9

特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団

4月12日(水)

南太平洋の文化遺産

宣教師ブラウンとそのコレクション

講師 林黙男(本館教授)

4月19日(水)

太平洋の探検家

朝枝利男の探検と生涯

講師 丹羽典生(本館准教授)

お申し込み・お問い合わせ先

ウエーブ産経ナレッジキャピタル係

06・6633・9087

開館40周年記念特別展「ピース——つなぐ・かざる・みせる」の図録。本書では、ピースの誕生から現代までの10万年という歴史、日本を含めた地球の隅々までの空間を視野に入れて、素材も見た目も多種多様な世界各地のピースを紹介する。



開館40周年記念特別展「ピース——つなぐ・かざる・みせる」の図録。本書では、ピースの誕生から現代までの10万年という歴史、日本を含めた地球の隅々までの空間を視野に入れて、素材も見た目も多種多様な世界各地のピースを紹介する。

池谷和信 編
『ピース——つなぐ・かざる・みせる』
国立民族学博物館 1,100円(税別)



古代文化興亡の地、アンデス。その文明形成期における権力生成の過程を探究する。日本調査団独自の画期的な仮説として1998年に提示された「神殿更新」説の流れを汲みながら、このこされた課題を克服するため、分野横断的に展開された最新の研究成果を発表する。

関雄二 編
『アンデス文明——神殿から読み取る権力の世界』
臨川書店 7,900円(税別)



本書では、「ウメサオタダオ展」の実行委員長を務めた著者が、梅棹忠夫自身とも言えるアーカイブから、生身の梅棹忠夫を浮かび上がらせる。

小長谷有紀 著
『ウメサオタダオが語る、梅棹忠夫——アーカイブの山を登る』
ミネルヴァ書房 2,800円(税別)

みんなくには、初代館長梅棹忠夫が残した膨大な資料集積である梅棹アーカイブが存在する。

友の会

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/ E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室(定員96名)
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円

第466回 5月6日(土)13時30分～14時40分
手話言語学研究部門プロジェクト関連

第二言語としての日本語

実感・体感的な手話言語案内

講師 飯泉菜穂子(本館特任教授)

手話言語は音声言語とは異なる音素・語彙・文法をもつ独立した言語です。音声言語が耳で聞き口で話すことばなら、手話言語はいわば「目で聞き手で話す」ことばとい換えることができるかもしれません。私たちの暮らし日本で使用されている「日本語」はどんな言語で、どんな人たちが話し、その人たちはどんな文化を持っているのでしょうか。第二言語として手話を習得してきた私の体験を交えながら分かりやすくお話しします。

第467回 6月3日(土)13時30分～14時40分

みんなく名誉教授シリーズがスタート

人類史のなかの遊牧

講師 松原正毅(本館名誉教授)

東京講演会

第118回 5月13日(土)13時30分～14時40分

第89回民族学研修の旅関連

モンゴル高原における遊牧民の遺産

講師 小長谷有紀(人間文化研究機構構理事、本館併任教授)

会場 モンベル御徒町店4Fサロン

モンゴル高原では古来、匈奴・鮮卑・突厥など、様々な民族が主役の座を交代しながら、遊牧文明が維持されてきました。遊牧とは、乾燥した気候にあわせて動物を多角的に利用する生活であり、移動によつて随時、自然や社会の変化に対応する柔軟性を備えています。モンゴル遊牧民は、そうした生活の知恵や移動精神を、現在に受け継ぐ人びとです。馬に乗って草原を駆け、平和構築に励んだ遊牧民の暮らしを、各地に遺る史跡を手がかりに考えます。

※要事前申込(定員60名)、会員無料、一般500円

民族学研修の旅

第89回「モンゴル」遊牧の民で出会う(8月実施は好評につき定員となりました。キャンセル待ちでのみ受付しております。

みんなく

研究部の改組について
2017年4月1日より、総合的研究力の強化及び学術資源の研究開発力の強化のため研究組織を変更いたします。従来の3研究部2センターに代わり、人類基礎理論研究部、超域フィールド科学研究部、人類文明誌研究部、グローバル現象研究部、学術資源研究開発センター及び国際研究統括室を設置します。

●小・中学生の観覧無料化について
開館40周年を記念し、4月1日(土)より中学生以下は観覧料が無料となります。
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

時	50
10	50
11	20
12	30
13	00 30
14	10 40
15	10 40
16	30
17	00

時	36	36	46	46	56	56
10	06	36				
11	06	36				
12			46			
13			16	46		
14			26	56		
15			26	56		
16						
17						

●みんなく無料シャトルバスのご案内
大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくとの間の直通無料送迎バスを特別展「ピース——つなぐ・かざる・みせる」の会期中に運行します。
運行日 6月6日(火)までの土曜・日曜・祝日
1日11往復、所要時間10分、無料
運休日 平日、5月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)
※万博記念公園でイベントが開催される場合は臨時に運休することがあります。詳細は本館ホームページをご覧ください。